

2010年度第6回統計関連学会連合理事会（メール審議）議事録

メール審議期間：2011年3月5日～2011年3月14日

【報告事項】

1. 理事長報告

美添理事長から、以下の件について報告がなされた。

1-1. 日本統計学会の法人化について

日本統計学会は2011年4月1日付けて一般社団法人日本統計学会へと組織が変更されるが、実質的な学会活動は、これまでと変わらない。

1-2. 統計検定について

2011年11月から「統計検定」が開始される。中心となる統計検定2級は、統計関連学会連合理事会が作成した「統計学分野の教育課程編成上の参照基準」にもとづき、統計教育の質保証を目的とするものである。また、統計教育を中心とした統計の質保証に関する「基準委員会」を日本統計学会に設置したが、その構成員は「日本統計学会の会員の他、統計関連学会連合理事会から推薦された者」とし、統計関連学会の活動として位置づけている。

1-3. 2013年 ISI 香港大会の件

香港統計協会から、2013 WSC/ISI Hong Kong に関連して、日本の統計関連学会に対して、日本からの報告件数の確保、サテライト集会の検討などを通じた協力が呼びかけられた。なお従来 ISI 大会 (Sessions) は、2011年 Dublin 大会から the World Statistics Congress of the International Statistical Institute と名称が変更されている。

2. 各委員会からの報告

(いずれも組織委員会と同一の内容であり、省略する)

2-1. プログラム委員会報告 (西井委員長)

2-2. 実行委員会報告 (前園委員長)

2-3. 運営委員会報告 (中村委員長)

3. その他

3-1. 理事の交代について

日本統計学会の理事は2011年1月1日付けで美添前会長から竹村彰通会長に交代した。事前の了解にしたがって、美添理事長は理事会推薦の理事として3月末日までの理事長任期中の理事を務める。

【審議事項】

1. 市民講演会の件

西井プログラム委員長より、九大 100 周年記念事業として後援を受けたいとの提案があり、後援を承認することを原案としてメールによる審議を行った。その結果、全員の賛成を得て、原案が承認された。

2. 2012 年連合大会業務委託の件

中村運営委員会委員長より、2 社（ISS および QM）の見積を検討した結果として、昨年に引き続き I S S に委託したいとの提案がなされた。メールによる審議の結果、全員の賛成を得て、原案が承認された。

3. 興行中止に関わる損害保険への加入の件

昨年度の経験を踏まえて、今年度は保険に加入せず、大会中止などの緊急事態に対しては、統計関連学会連合の責任において処理することとし、2012 年は「損害保険には加入しない」ことが前回の理事会で提案された。その後運営委員会の同意を経て、これを原案として審議を依頼した。メールによる審議の結果、全員の賛成を得て、原案が承認された。

4. 連合サーバの管理に関する件

中村運営委員長より、管理体制を明確にする必要性が指摘された。2013 年の連合大会に向けて、サーバ等の管理体制を明確にするため、4 月以降、学会連合理事長・副理事長が検討することとしたい。この原案について、メールによる審議の結果、全員の賛成を得て承認された。

5. 今後の業務委託の件

実質的な事務局を持たない連合大会の運営では、運営委員会が重要な役割を担うため、運営委員会の負担が余りに重いようでは、長期的な大会運営が困難になる可能性もある。そこで、体系運営に習熟した業者の存在は、負担軽減に効果がある。

一方、同一業者を長期間にわたって選定すると経費が増加する傾向は広く観察されており、適切な監査基準が必要となる。来年度以降の委託業者選定方法についても方針を早めに検討することが適切と考えられる。

将来、連合大会の規模が安定的に推移する見通しができれば、大会運営を含めた学会連合事務局のような形式を想定して複数年の契約を結ぶことも検討すべき課題になる。全員の賛成を得て、この問題を継続的な審議事項とすることになった。